

■ 各指標の現状（7月29日現在）

指標	現状 (7月29日現在)	警戒度
新規感染者数（直近1週間）	42人	特定警戒
検査陽性率（直近1週間）	3.5%	感染拡大注意
病床の稼働率	18.8%	感染観察
重症病床の稼働率	0.0%	感染観察

※6月21日から利用病床数には、空港検疫・具外で確認された陽性者による病床利用を算入しています。

■ [各指標の推移（7月29日現在）（PDF：148KB）](#)

【掲載事項】

- 新規感染者数（直近1週間）
- 検査陽性率（直近1週間）
- 病床の稼働率
- 重症病床の稼働率

■ 現在の行動基準の対応レベル

警戒度は**感染拡大注意**レベルです。

【総合的な判断（令和2(2020)年7月27日）】

新規感染者数が特定警戒レベルにあり、この1ヶ月で複数のクラスターが発生したほか、感染経路不明者も増加していることに加え、感染観察レベルにある病床稼働率も増加傾向にあることから、警戒レベルを「感染拡大注意」に引き上げます。

【参考】各警戒度の状況（イメージ）

- 特定警戒：感染者数がさらに拡大しており、市中での感染の可能性が高く、病床ひっ迫のリスクが高いため、厳重な警戒が必要な状態
- **感染拡大注意**：感染者数が拡大傾向にあり、感染経路を特定（推定）できない者の増加や複数のクラスター発生、病床ひっ迫のリスクが高まっているため注意が必要な状態
- 感染観察：感染者がいない又は少なく、クラスターが発生した場合でも感染経路を特定（推定）できており、病床にも余裕があるため、引き続き観察を行う状態